

## ～宮津市のあたたかい地域づくりにおきて～

2,000万円のご寄付をありがとうございました

公益財団法人さわやか福祉財団会長の堀田 力様より、宮津市社会福祉協議会へ多額のご寄付をいただきました。堀田 力会長からのメッセージをご紹介します。



公益財団法人さわやか福祉財団  
会長 堀田 力氏

～メッセージ～

**宮津**は、私という人間の基礎をつくってくれた町である。3才まで父（宮津中学英語教師）と母と3人で暮らし、親の愛情に包まれ、人へのゆるぎない信頼感を培った。母の死後6才までは、新しい母（宮津女学校英語教師）に自立の心を育ててもらった。

30年間の検事勤めの後、助け合い活動を広める活動に取り組んだ私は、平成31年、ふるさとで講演した折りに、宮津の方々のあたたかい心とみんなですべてを創り出していこうという前向きな気持ちに触れて、感激した。

市の生活支援コーディネーターや協議体を構成する志ある方々が、「やっぱり私たちが頑張らないとみんな安心できないよね」と、一肌ぬぐ心意気を固めて下さったのである。

「宮津に住むすべての人が、最後まであたたかい地域に支えられて幸せに暮らしてほしい。そのために、現場を知る生活支援コーディネーターに、住民活動を支援するお金を自由に使ってほしい。」

私がなけなしの老後資金から寄付させて頂いた思いは、そこにある。

まずは、思いを受け止めて下さった小田和夫新会長に心から感謝している。

～プロフィール～

1934年京都府宮津市生まれ。京都大卒業後、1961年検事任官。1976年東京地検特捜部検事としてロッキード事件捜査を担当。91年に退官、弁護士登録。さわやか法律事務所及びさわやか福祉推進センター（2010年4月に公益財団法人化）開設。  
にっぽん子育て応援団団長、「高齢社会NGO連携協議会」共同代表、厚生労働省の高齢者介護研究会座長、日本プロサッカーリーグ裁定委員会委員長などを務める。近著に「初めて部下を持つあなたへ」（こう書房）、『「共助」のちから』（実務教育出版）「私たちが描く新地域支援事業の姿。地域で助け合いを広める鍵と方策」（共著 中央法規出版）など。